

令和4年度子ども読書活動推進の取組(報告)

1 就学前からの読書習慣の形成

(1)子ども読書啓発冊子の作成・配付 (生涯学習課)

○乳幼児・保護者向け子ども読書啓発冊子「えほんいっぱい たのしさいっぱい」

親子の読書習慣の形成を促すため、乳幼児・保護者向け子ども読書啓発冊子「えほんいっぱい たのしさいっぱい」(平成15年3月から発行)を作成し、各市町の乳幼児健診等を活用して配付。

また、学習情報提供システム「におねっと」内の「子ども読書活動支援センター」に掲載し、いつでもどこでもデジタル版を見ることができ環境を作ると共に、県内書店等に設置するなど、様々な場面で、冊子を活用した啓発を行った。

<令和4年度実績>

- ・配付部数：14,500部
- ・配付先：各市町乳幼児健診時等
(概ね1歳半までの乳幼児のいる
県内の全ての保護者に配付)
県内公共図書館
滋賀県書店商業組合加盟店
読書関連研修、講座参加者
その他



2 読書に対する興味・関心を広げる取組の普及

(1)「おすすめ」で広げる読書の推進 (生涯学習課)

○みんなに読んでほしい本 大募集! (対象：小学生)

県内の小学生を対象に同世代におすすめする本と紹介文を公募し、応募作品から24点の作品を選んで「子ども読書活動支援センター」で公表し、市町教育委員会等に通知した。

(選定：子ども読書活動推進協議会委員)

<令和4年度実績>

- ・応募数 1,324点 優秀作品 24点

(2)読書率向上プロジェクト (生涯学習課)

○「しがはいすくーるおすすめ本50選」ポスターの作成・配付 (対象：高校生)

令和3年度「しがはいすくーるおすすめ本50選」の優秀作品から選んだいくつかの紹介文を活用して高校生向け読書啓発ポスターを作成し、県内高等学校・特別支援学校高等部・中等教育学校後期課程・公共図書館・県内書店等に配付した。

また、ポスターに掲載しきれなかった優秀作品も併せて「子ども読書活動支援センター」に掲載し、啓発に活用した。

<令和4年度実績>

- ・令和4年10月発行ポスター



○【新規】中高生図書委員等交流会（対象：中学生、高校生）

中学生・高校生の自主的な読書活動を広げるきっかけづくりとして、読書をする習慣がない同世代に向けた啓発方法や、行ってみたくなる学校図書館づくりについてのアイデアなどを話し合う交流会を開催した。交流会のサポーターとして県内の大学生に参加いただき、グループ協議の司会進行をしていただいた。

また、各校の読書活動推進の取組に活用できるよう、交流会で話し合われた意見などを「子ども読書活動支援センター」に掲載し、県内に広く発信していく。

<令和4年度実績>

- ・日時：令和5年2月10日(金) 15時30分～17時00分
- ・開催方法：Web会議システム「Zoom」によるオンライン実施
- ・参加者：中学校10校35人、高等学校5校24人、大学3校12人
計18校 71名

○【拡充】しが中学生おすすめ本50選（対象：中学生）

県内の中学生が、「同年代に読んでほしい本」の紹介文を200字以内で作成し、学校を通じて応募。応募のあった作品について、中学生自身が審査員となり、今年度の優秀作品50編を選定する取組を実施した。

また、選ばれた作品は「しが中学生おすすめ本50選」として「子ども読書活動支援センター」等により、県内に広く発信していく。

<令和4年度実績>

- ・応募数 366点

○しがはいすくーるおすすめ本50選（対象：高校生）

県内の高校生が、「同年代に読んでほしい本」の紹介文を200字以内で作成し、学校を通じて応募。応募のあった作品について、高校生自身が審査員となり、今年度の優秀作品50編を選定する取組を実施した。

また、選ばれた作品は「しがはいすくーるおすすめ本50選」として「子ども読書活動支援センター」等により、県内に広く発信していく。

<令和4年度実績>

- ・応募数 2,085点

○【新規】子ども読書活動推進リーフレットの作成・配付（対象：小～高教職員）

子どもたちの読書習慣の形成や、子どもにとって最も身近に多様な本に親しめる場所である学校図書館の環境のさらなる改善・機能強化につなげるため、教職員を対象にした「子ども読書活動推進リーフレット」を作成した。

4月より配付し、各校での子どもの読書活動のさらなる取組を推進する。

3 学校図書館の環境のさらなる改善・機能強化

(1)学校・図書館・ボランティア連携研修会の開催（生涯学習課）

学校図書館の活性化を図るため、公立図書館や地域ボランティア等による支援の工夫や、県内の先進的な取り組みなどを幅広く紹介する講座を開催した。

<令和4年度実績>

- ・日時：令和4年11月15日（火）
- ・会場：彦根勤労福祉会館（オンデマンド併用）
- ・対象：小中学校・義務教育学校管理職、学校図書館担当教諭、学校司書、各市町学校図書館行政担当者、公共図書館職員、読書ボランティア（個人・団体）等小中学校
- ・内容：<実践報告>「学校図書館支援センターの取組」
報告 湖南省教育研究所 所長 法山 由紀子 氏
<講演>「学校図書館活性化のための連携について」
講師 全国学校図書館協議会 参事 小川 三和子 氏



(2)学校図書館活用好事例の発信（生涯学習課）

学校図書館のさらなる環境整備の参考となるように、県立学校の学校図書館の活用好事例（企画展示の写真など）を収集し、「子ども読書活動支援センター」で発信した。

4 子ども読書に関わる人材育成

(1)子ども読書ボランティア研修会の開催（生涯学習課）

就学前の読み聞かせ等に関わる読書ボランティアの資質向上と、県内各市町における「おうちで読書」の取組の推進、実践交流をとおして、地域の実情に合わせた地域活動の広がりを目指し研修会を開催した。

<令和4年度実績>
別紙 開催チラシ参照

5 調査活動・情報提供

(1)乳幼児の健康診査時等における親子に対する読書啓発の取組に関する調査

(生涯学習課) 指標①

就学前からの読書習慣の形成には、親子に対する啓発が重要であるため、乳幼児の健康診査時等における親子に対する読書啓発の取組を把握することで、滋賀県子ども読書活動推進計画の進行管理に活用するとともに今後の施策の参考とすることを目的とし、実施した。

(2)滋賀県子どもの読書活動に関する調査 (生涯学習課) 指標③

県内の児童・生徒の読書量を調査・把握することで、滋賀県子ども読書活動推進計画の進行管理に活用し、今後の施策の参考とするとともに、各市町が策定する子ども読書活動推進計画の基礎資料として提供することを目的とし、調査を実施。

- ・令和4年度 調査期間：6月1日(火)～6月10日(金)の間
調査内容：5月の1か月間に読んだ書籍の冊数

(3)学校司書の配置状況に関する調査 (生涯学習課)

学校において、児童生徒の主体的な学習活動や読書活動を推進するためには、学校図書館機能の一層の充実、活性化が求められており、学校司書の配置状況を調査・把握することで、滋賀県子ども読書活動推進計画の進行管理に活用するとともに今後の施策の参考とすることを目的とし、実施。

(4)滋賀県子ども読書活動団体等調査 (生涯学習課)

県内で読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動を行っている団体等の実態を把握し、「におねっと」等で広く情報提供することにより、活動の活性化や団体等の連携促進を図ることを目的とし、調査を実施。

(5)「子供読書活動推進計画」策定状況調査 (文部科学省)

「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)第9条で、都道府県及び市町村は「子供読書活動推進計画」を策定するよう努めなければならないとされており、国は「第四次計画」において令和4年度末までに、市100%、町村70%以上の地方公共団体において計画が策定されることを目指している。

文部科学省では、子供の読書活動の推進に係る施策の参考とするため、「子供読書活動推進計画」の策定状況について、調査を実施している。

(6)「子ども読書活動支援センター」による情報提供 (生涯学習課)

子ども読書活動の推進に関わるあらゆる活動が効果的に実施されるよう、滋賀県学習情報提供システム「におねっと」内に、子どもの読書活動を支援するサイト「子ど

も読書活動支援センター」を設け、様々な情報を一元的に提供した。

【提供内容】令和5年3月現在

- ・発達段階に応じた「おすすめ本」の紹介（啓発冊子・ポスター等）
- ・子ども読書活動関係団体の紹介
- ・人材育成やスキルアップのための講座開催案内
- ・学校図書館の活用好事例等の紹介
- ・各種調査結果の資料
- ・子ども読書活動推進計画関連資料 など



「子ども読書活動支援センター」
QRコード